

ばあちゃんの「しゅうごう」

香川県 榎井小学校 1年 中西 華

「ひいじいちゃん、くすりはのんだで。」

わたしのまいにちのことばです。わたしのひいじいちゃんは、かなりのちほうしょうと、びょういんでしんだんされています。きょうなんにちか、なにをたべたか、なにをしたか、わすれてしまいます。

まいにちデイサービスにかよっています。4じにびょういんの人がいえにおくってくれます。「ありがとうございます」とむかえにでるのが、わたしのやくめです。とけいをみて、4じがちかづく、わたしは耳をすませます。「あ、ドアがあいた」いそいでげんかんにはしります。

でも、ときどき（めんどくさいなあ）とおもうときがあります。まいにち、なんかいもおなじことをききにきます。わたしは、かぞえたことがあります。20かいです。（あー、くたびれた）と、こころのなかで、いつもおもいます。

あるときわたしは、ひいじいちゃんがきいてくることをむししたことがあります。「もう、いまいうたやん」といって、こたえてあげませんでした。そんなことがなにかありました。

ときどき、ばあちゃんから、かぞくぜんいんにしゅうごうがかかります。みんなのころがおれそうになったときです。それぞれの、ひいじいちゃんにたいしての、やくわりぶんたんのかくにんです。

そのときいつもばあちゃんがいうのは、

「わすれてしまうびょうきは、ひいじいちゃんになろうとおもってなったわけじゃないやろ。みんなでちからをあわせてがんばろうな。やさしいきもちをわすれんといてよ。」といいます。

わたしは「ドキッ」としました。わたしがひいじいちゃんのこと、むししているのを、ばあちゃんは知っているのかな。こころがいたみました。きゅんとくるしくなりました。わたしは「はあー」と、いきをはきました。

1ぶんまえのことをわすれてしまうひいじいちゃん。そのひいじいちゃんはいつも、

「おまえはかしこいのう。かわいいのう。」

と、わたしのあたまをなでます。そんなときわたしは、（ごめんな、ひいじいちゃん、むしして。こんどはちゃんとはなしをきくから）と、こころのなかでおもいます。

わたしはきめました。わすれても、わすれてもいいよ。しかたないよ。なんどでもおなじことをいって、わたしがひいじいちゃんのぶんまでおぼえているからね。たいへんだけれど。でも、わたしのこと、かわいいとおもっていることだけはわすれないもんね。いつもいちばんにわたしのなまえをよんでくれるよね。

これからもできるだけ、ひいじいちゃんのおせわをがんばろうとおもいます。やさしいおもいやりのきもちを、わすれなければだいじょうぶ。でも、こころがおれそうになったら、また、しゅうごうをかけてな！わたしにパワーをださせてな、ばあちゃん！